

ビザなし交流通信

vol.
10
2026.7.10

識者に聞く 四島交流

リアルな四島

札幌大
地域共創学群 教授
大矢 温さん

知る機会絶やさず

about

新型コロナやウクライナ侵略の影響で2020年から中断する北方四島交流事業。長年事業に関わってきた札幌大のロシア語専攻では、23年度の入学生を最後に学生募集が停止され、交流再開後の担い手確保が懸念されます。学生が交流に参加する意義や今後の課題を、同大の大矢温教授（70）に聞きました。

more

「四島交流と札幌大の関わりは長いですね。」

「1997年に札幌を訪れたロシア人島民を大学に招いたのが始まりです。交流中断まで20年以上、ロシア人との合同授業を開催したり、ロシア人が北海道本土を訪れた際に学生を派遣したりしました。若者向けの四島訪問プログラムが新設された2004年以降は、毎年5人程度の学生が島を訪問しました。」

「ロシア語を学ぶ学生にとって、交流はどのような場でしたか。」

「多い時で50〜60人の日本人が参加するのに対し、同行する通訳は数人。通訳不足を少しでも補うために、05年から簡単な通訳を学生が務めてきました。互いの文化や生活についてロシア人と話し合う際の補助などです。将来ロシア語を使って活躍したいと考える学生にとって、領土問題を巡る双方の見解に触れながら、返還運動の最前線を知る貴重な機会でした。」

四島交流（ビザなし交流）とは

日本人と北方領土に住むロシア人がパスポートやビザなしで相互訪問する事業。領土問題解決の環境づくりのため1992年に始まり、これまでに646回、2万4488人の交流が行われています。



—日本人、ロシア人双方の学生が交流する様子を間近で見て、どう思いましたか。

「私はこれまで3回島を訪問しました。00年代後半は日本経済が今より好調で、『勤勉な日本人』との印象を持つロシア人が多かったです。日本人は一日10時間以上勉強するのかと質問してくる学生もいましたが、話してみると、その場の日本人より彼らの勉強時間の方が長かった。サハリンなど都市に進学しようと必死に学ぶようで、私は口

シア人の学習意欲の強さに驚きました。研究者でも現地のロシア人に聞いて初めて知る実情がある。学生はなおさらです。実際に往来してリアルな生活を見ることが、相互理解の一步だと思えます」

実体験から方法模索

—交流が学生に与えた影響はありますか。

「札幌大のロシア語専攻生の多くは道内出身者で、彼らは幼少期から領土学習を重ねており、領

土問題に対する自分なりの意見を持っています。そのため、島を一度訪れても考え方が急に変わることはないのではないのでしょうか。しかし、教科書の知識だけではなく、実体験に触れて領土問題を語れるようになることは大事な経験です。例えばある学生は、島で生まれ育ったロシア人と接したことで、ただ返還を訴えるだけでなく、返還後のロシア人島民の居住地をどうするかといった現実的な問題にも目を向け始めました。ロシア人が住む現状に向き合い、領土問題解決のための方法を模索できるようになりました」

—交流中断が学生に与える影響はありますか。

「札幌大の学生にとって最も近くに住むロシア人は、北方領土の住民です。しかし、今の学生のロシア人に関する情報はモスクワなどの都市に偏っていると感じます。北海道本土からモスクワまでの距離は約7000キロなのにに対し、根室市にある

本土最東端の納沙布岬から北方領土までは、最も近い島で3・7キロです。文化的にも経済的にも密接な関係を持つ北方領土に、今後のロシア語人材を担う学生が行けるかどうかは、大きな経験の差になると思います」

担い手育成 長期的に

—交流再開後の課題をどう考えますか。

「一度きりの経験にせず、参加後も学生が腰を据えて領土問題に関われ



▶ロシア人島民（右）と話す札幌大生（中央）
札幌大、1997年

people

大矢 温（おおや・おん）

1956年、東京都出身。中央大大学院博士前期課程修了（法学修士）。ロシア政治思想史、特に19世紀ロシアのスラブ主義思想が専門。交流では2007年と08年に団長、11年に副団長として四島を訪問した。

る仕組みが重要です。これまでも、北方領土に関する弁論大会や学内の写真展など、島を訪れた学生が自分の経験を伝える機会がありました。しかし、その後の進学や就職で領土問題から遠ざかった人も多いのではないのでしょうか。現状では友好関係を維持するだけでは問題解決にはつながらず、関係を発展させていくべきです。領土問題発信の担い手を育成するため、長期的な視座での具体的な環境整備を検討する必要があります」（聞き手・川口実南）

History



KEYWORD

キーワードで知る四島交流



▲ ロシア人島民と合同のスピーチコンテストで発表する札幌大生
＝2018年、札幌市

事後活動

北方領土を訪れた人が、訪問後に領土問題の発信を行うこと。北方同盟が2017年～19年の参加者を対象にまとめた調査では、約9割の人が事後活動を行ったと回答しました。弁論大会での発表や学校、職場での情報提供が多く、中にはロシア人島民から贈られた水彩画を展示した人もいます。

The Northern Territories times

(06)

北方領土にごみ処理場建設計画

実現を疑問視する声も

再浮上した建設計画

サハリン州のヴァレリー・リマレンコ知事は6月、州住民の質問に答えるテレビ番組の生放送で、国後島にごみ焼却場を建てる方針を示しました。

北方領土には焼却場がなく、各所にごみが放置されています。ごみ処理を促す新たな施設の建設に期待がかかる一方、交流サイト（SNS）上では「もう何年も前から計画されているはずだ」と実現を疑問視する声もあがっています。

長引く公共工事

四島では公共工事の中止や遅延が頻発しています。2024年に国後島で建設が始まった下水処理施設は当初、26年春にも稼働する予定でしたが、処理水を海洋に放出する設備の敷設が難航したことで、工事完了は27年に遅れる見込みです。

参照：サハリンメディア（2026年6月25日）、ナ・ルベジェ、色丹テレグラフ（2026年6月26日）

column

環境問題を考えようと択捉島で14年、日本人とロシア人が市街地を掃除した後、ごみ問題をテーマに話し合いました。ロシア人の関心を集めたのは、日本側の不法投棄対策。ごみのポイ捨て削減に向けた根室市の取り組みや地域の活動を日本人がロシア人に紹介しました。19年には四島での日ロ共同経済活動に向け、ロシア人の視察団が根室市の廃棄物処理場を訪れています。



▲ 択捉島の市街地でゴミを拾う日本人＝2014年

四島交流まめ知識

獣も鳥も獲れませんように

こんな経験ありませんか？

明日は大事なロシア語の試験。図書館で勉強していると、親しいロシア人に「ニ・プーハ・ニ・ペラーニ пуха ни пера!」と声をかけられました。直訳は「獣も鳥も獲れませんように!」。試験で点を取れないだろうと、友人はからかってきたのでしょうか。

成功を口にすると悪魔に邪魔されて失敗する。そんなジンクスを信じるロシア人は、あえて不吉な言葉で相手を励まします。「ニ・プーハ・ニ・ペラーニ пуха ни пера」も本来は狩りの成功を祈る言葉。転じて「頑張って」という意味で使います。ちなみに、この言葉に「スパシーバСпасибо（ありがとう）」と返してはいけません。「ク・チョルトウК чёрту（地獄に落ちろ!）」と応えるのがお決まりです。



サッカーはロシア人に最も人気のスポーツ。ロシア国营通信社リア・ノーボスチによると、2025年末時点の競技人口は最も多く、350万人以上です。一方、日本人に身近な野球はロシア人には馴染みが薄く、ルールを知らない人もたくさんいます。

四島交流では、日本人とロシア人の学生がスポーツについて意見を交わしたり、試合を行いました。写真は札幌大で17年に実施したサッカー交流の様子。ゴールを決めた選手に「**молодец** (すごい)」と声をかけ合いました。

引用：リア・ノーボスチ（2026年3月16日）



四島交流の味を自宅で再現！

1h

ビーツたっぷり 冷製ボルシチ



作り方

1 ビーツをゆでる

ビーツの水煮缶を使うと短くなります

少量の酢を入れた鍋でビーツをまるごとゆでる。竹串が通るまでやわらかくなった後鍋から取り出して皮をむき、5mm角に切る。

2 材料を混ぜる

ゆでたジャガイモやコンソメ、生クリームを入れても◎

ゆで卵、ハム、きゅうりをみじん切りにし、ビーツ、グリーンピースと合わせる。ヨーグルトと水を入れ、冷蔵庫で冷やす。

3 味をととのえる

塩、コショウ、ディルで味をととのえて完成。



more about vizanashi ...

緑のボルシチ!?

ロシアや東欧で家庭料理として愛されるボルシチ。四島交流でもロシア人島民の家で度々振舞われました。「飲む血液」と呼ばれるほど鉄分豊富な野菜のビーツを使い、真っ赤な見た目が特徴ですが、その起源は野草を原料にした緑色のスープとされています。



択捉島で食事を囲む日本人とロシア人＝2011年

材料（2人分）

ビーツ 1個
ゆで卵 2個
ハム 4枚
きゅうり 1本
グリーンピース 少々
ヨーグルト 250g
水 250ml
塩 適量
コショウ 適量
ディル 適量
酢 少々

ロシアや東欧で愛される
ボルシチを、冷たい
レシピで堪能！

News & Topics

洋上セミナー in 根室市 道内大学生 参加者募集



四島交流船「えとびりか」に乗って北方領土を間近に見よう！洋上セミナーに参加する道内在住の大学生を募集します。

日時 / 2026年9月14日（月）～16日（水）

場所 / 根室市

参加申込方法

QRコード



メールアドレス

氏名と洋上セミナー参加希望の旨を記載の上、下記メールアドレス宛てにお申込みください。
参加申込書を別途、送付します。
vizanashi01@gmail.com

理解促進セミナー in 羅臼町 開催決定

北方領土元島民関係者とロシア語通訳者を講師に迎え、四島交流について考えます。会場ではロシア紅茶とチョコレートを試食できます。

日時 / 2026年8月25日（火）10:30～12:00

場所 / 羅臼町役場 1階会議室①～③

Follow us

公式SNS(Instagram/Facebook)、公式ホームページでイベント情報を配信中！北方領土のぶち情報もお届けしています。

公式 Instagram

@vizanashi.info



公式 Facebook

四島交流 Facebook



（公社）北方領土復興
帰期成同盟のホーム
ページはこちら▶

